

問みやま市立図書館(Tel.64-1117)  
山川市民センター図書館(Tel.67-0401)  
まいピア高田図書館(Tel.22-6655)

みやま市立図書館  
ホームページ



ツイッター  
@miyamalibrary



インスタグラム  
@miyamalibrary



## 休館日のお知らせ

### ▶2月の休館日

休館日 6日(月)、13日(月)、20日(月)、24日(金)、27日(月)

※最新の開館状況とイベント情報は、図書館ホームページを確認ください。

## 2月のイベント・特設コーナー

### みやま市立図書館(瀬高館)

#### ▶冬の雑誌ふろく抽選会

瀬高館で購読している雑誌のふろくを抽選でプレゼントします。応募券配布期間中に瀬高館で資料を借りると応募券がもらえます(1日1枚まで)。応募手順など詳しくは館内のポスターやチラシをご覧ください。

【応募券配布期間】2月1日(水)~12日(日)

【応募期限】2月26日(日)

【抽選発表・受け渡し期間】3月3日(金)~31日(金)

#### ▶赤ちゃんおはなし会(4日) 午前11時~11時15分

#### ▶おはなし会(4・11・18・25日) 午後2時~2時20分

#### ▶図書館ピアノ(12・26日) 午前11時30分~11時50分

特設コーナー 一般 読んで見て楽しむ図鑑&事・辞典  
児童 おかしのせかいへ!

## 図書館ニュース

音訳ボランティアせせらぎさんより、本の音訳CDを寄贈いただいています。このCDは活字による読書が困難な人だけでなく、誰でも利用できます。ぜひご利用ください。

### 山川市民センター図書館(山川館)

#### ▶おりがみ相談室(11日) 午後2時~3時

#### ▶おはなし会(18日) 午前11時~11時30分

#### ▶おりがみ教室(3月5日) ※要事前申し込み、定員15人

【日時】3月5日(日)午後1時30分~4時30分

【作品】花のステンドグラス(初級者向き)

各図書館で見本を展示しています

【申し込み】2月5日(日)から山川館窓口または電話で受け付け

特設コーナー 一般 今年こそ“お金”に強くなる!  
児童 おにのおはなし

### まいピア高田図書館(高田館)

#### ▶おはなし会(4日) 午前11時~11時40分

特設コーナー 一般 今だから分かる!できる!学びなおし  
児童 あま〜い おかし

## 新着図書

※所蔵していない本は、リクエストでできるだけお応えしていきます。

一般(み)



家康の海  
植松 三十里/著  
(PHP研究所)

西欧諸国の思惑、朝鮮との国交回復、日本を平和に導いた外交戦略…。ウィリアム・アダムスと朝鮮貴族の娘・おたあの視点を交えて、徳川家康の知られざる姿を描く。

一般(み)



九州・沖縄の日報地域紙  
宮下 正昭/著  
(南方新社)

ネット時代。全国紙より地方紙、地方紙より地域紙が生き残る。創刊120年余の『島原新聞』、県境を挟む旧炭鉱の町を結ぶ『有明新報』、島初の日刊紙『宮古毎日新聞』など、九州・沖縄の日報12紙をレポートする。

児童(山)



アタックライン1 になりたいわたしになるために  
中松まるは/作、かわいひちろ/絵  
(あかね書房)

身長が低い小6女子、バレーボールに挑戦する!全日本女子バレーの試合に憧れて、地域のバレーボールチームに入った美桜。ところが、背が低い美桜には、思い描いたプレーができなくて…。目標に向かって突き進む少女の物語。

児童(山)



野鳥のレストラン  
森下 英美子/文、新開 孝/写真  
(少年写真新聞社)

空を飛ぶために野鳥はいつも腹ペコ。そんな野鳥のために、木の上や草むら、水辺や街中など、あちこちで開店する野鳥のレストラン。メニューは何?のぞいてみると…。野鳥たちの生態を紹介します。

絵本(高)



バーガーボーイ  
アラン・デュラント/ぶん、まつおかめい/え、真珠まりこ/やく  
(主婦の友社)

野菜が嫌いで、大好きなハンバーガーばかり食べていたベニーはある日、大きなハンバーガーになってしまった。犬や牛、男の子たちに追いかけて…。好き嫌いがなくなる食育絵本。

絵本(高)



ハコフグのねがい  
さかなクン/さくえ  
(講談社)

海の中にすんでいるハコフグ。いつもひとりてぶかぶか泳いでいます。群れで泳ぐイワシや、遠い北の海に行けるサケのことをうらやましく思っていました…。さかなクンかきおろしの、自然科学や生き物への興味が深まる絵本。

※TRC週刊新刊全点案内より

(み)みやま市立図書館 (山)山川市民センター図書館 (高)まいピア高田図書館

# ご存知ですか。ACP「人生会議」

問地域包括支援センター  
(Tel.64-1516)

引用・参考:厚生労働省ホームページ

皆さんは人生の最期を、どのように迎えたいか考えたことはありますか。

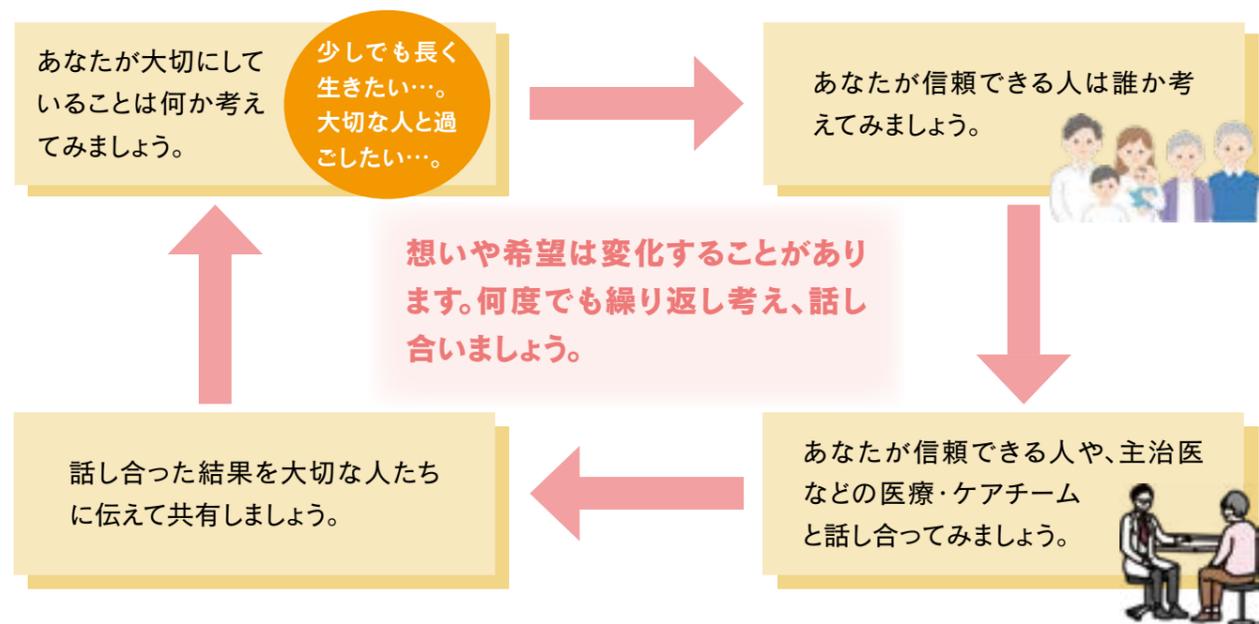
誰でも、いつでも命に関わる病気やけがをする可能性があります。命の危険が迫った状態になると医療やケアを自分で決めたり、自分の想いや望みを人に伝えたりすることができなくなる場合があります。そのような場合に備えて、前もって考え、信頼できる身近な家族や日頃から関わりのある医療・介護関係者と話し合い、共有しておくことが重要です。



## ACP(アドバンス・ケア・プランニング)とは

もしものときのために、本人が望む医療やケアについて、年齢を問わず健康なときから前もって考える機会を持ち、本人が家族や医療・ケアチームと繰り返し話し合うプロセスのことをいいます。ACPは馴染みのあるものとなるように「人生会議」という愛称が付けられています。

## 話し合いの進め方(例)



## 11月30日は「人生会議の日」

11月30日は、覚えやすく、親しみやすい語呂合わせで「いい<sup>みと</sup>看取り、いい<sup>みと</sup>看取られ」にかけて、人生の最終段階における医療・ケアについて考える「人生会議の日」とされています。

「人生会議の日」以外でも、年末年始やお盆などの家族や親戚が集まる機会に、周りの人と一緒に人生の最終段階における医療・ケアについて話し合ってみましょう。

11 30 11 30  
いい看取り、いい看取られ

みやま市では、「すべての市民が住み慣れた地域で、自分らしく健やかに暮らすことのできる支えあいのまちづくり」を目指し、「みやま市在宅医療・介護連携推進協議会」を設置しています。

この協議会でも、ACP「人生会議」の普及啓発のため、医療・介護関係者向けの研修会開催などの取り組みを行っています。

※ACP「人生会議」について詳しく知りたい人は、厚生労働省ホームページをご覧ください。



▲「人生会議」してみませんか。



▲ゼロからはじめよう人生会議

